

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	農業団体指導・育成事業			会計	款	項	目	大	小
				01	06	01	03	04	01
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	農業振興課				
施策	5-4	多様な方面からの農業の振興		主管課長	安蒜 康志				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	①農業団体 ②市内農業者	意図	①本市農業施策を理解し、これに準じた積極的な活動が推進されるようになる。 ②農業者相互の技術交流による生産技術が向上する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 上記の意図に結びつく各農業団体の活動に対し、助成金を交付する。 国や県等と協力のもと、研修及び各種支援制度の周知を行う。 			
事業開始から現在までの状況変化	農業者の高齢化や担い手不足に伴い、各団体の構成員が減少傾向にある。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	農業講習会・研修会への参加者数	200	267	196	人	↑↑↑	視察研修会：68人
②	主要共撰4品目売上額	100,158	104,861	95,642	千円	→→	JA出荷分アサダ、アサダ、ホレンソウ、エダマメの売上額	
③	「ちばエコ農産物」の認定を受けている品数	0	0	1	品	→→		
④	「エコファーマー」の認定を受けている生産者数	10	10	9	人	→→		
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果		首都圏消費者ニーズに合わせた農作物の栽培に向けた生産技術のレベルアップ（都市型農業への対応）				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度	【指導・育成対象団体の状況】 「流山市園芸団体連合会」 構成団体数：15団体 会員数：199人 園芸団体連合会の事務局として、総代会、役員会の資料作成及び開催に係る庶務等について市職員が実施している。また、消費者との信頼関係づくり、地域活性化への貢献等についての理解・習得を目的として先進的な直売所を視察した。			
事務事業の総コスト(a=b+c)		4,643,260	5,099,958	4,613,252				
事業費(b)(円)		497,260	581,958	494,252				
うち一般財源		497,260	581,958	494,252				
職員給与費(c)(円)		4,146,000	4,518,000	4,119,000				
人役・職員(人)		0.60	0.60	0.60				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	「エコファーマー」や「ちばエコ農産物」の認定数が伸びていないため、生産者に認定制度の説明を行う。	③取組の課題	「エコファーマー」や「ちばエコ農産物」の認定のメリット等を周知する。
②今年度(H28)に実施した取組	各団体の講習会等の開催時に認定制度について周知し、啓発を行った。	④今後の改善計画	構成団体の取組みや活動内容の事例を紹介する。各種講習会開催時に認定制度について周知し、啓発を行う。